

第10回 日本手術看護学会 近畿地区大会の開催にあたって

“共に考える、周術期看護” ～協働し成長する周術期看護の未来～

日本手術看護学会 近畿地区大会 大会長 茶谷 園子

このたび、第10回日本手術看護学会近畿地区大会をオンデマンド配信にて開催させていただくことになりました。

昨年の第9回は和歌山にて現地開催、加えて後日配信のハイブリッド方式で地区大会を開催させていただきました。コロナウイルス感染症との戦いも3年になりましたが、準備期間に於ける第7波や第8波の蔓延状況が重なり、万全を期してWEB方式と決定させていただきました。

今回、第10回のテーマは「共に考える、周術期看護 ～協働し成長する周術期看護の未来～」といたしました。近年、手術療法の複雑化・多様化が進み、多職種や各専門チームとの協働・連携が求められています。現在はまさに少子高齢化社会の中にあり、労働人口の減少、看護師数の減少も懸念されています。このような社会情勢の変化により、効率的・効果的な周術期看護を提供するための他職種へのタスクシェア・シフトの推進は重要な課題となっています。また、長期化するコロナ渦は人々の生活習慣のみならず、受診行動にも変化をもたらし、手術医療はその影響を受けさらに重症化・複雑化してきています。このような中、手術室看護師の役割とは・その専門性を発揮するために行動すべきことは何か、改めて見つめ直す機会が必要ではないでしょうか。

本学会では、様々な方面で活躍する看護師や他職種の考えや取り組みを共有できる場になります。個々の感性を豊かにし、改めて看護観を見つめ直すことや、患者の利益について考え、共有する時間を持ちたいと考えます。

本学会を通じて看護師一人ひとりの成長と、発展する周術期看護の未来を考えるきっかけとなれば幸いです。

皆さまのご参加、心よりお願い申し上げます。